



詫中代表選手

先週は、全学年とも校外学習(遠足、修学旅行)を行いました。天候にも恵まれ、いい体験ができました。

1年生は、ふれあいパークみまでの往復16kmの道のりを、友達と切磋琢磨しながら元気よく歩きました。新しい仲間もたくさん増えました。2年生は、船で栗島に渡り、ウォークラリーを行いました。リーダー会が決めた「青春の汗を流そうゼッ！」のテーマのもと、共に歩み共に学びました。3年生は、5月13日～16日の3泊4日で北九州方面へ修学旅行に行ってきました。4日とも天候に恵まれ、阿蘇では運よく火口まで登ることができました。事前に集団訓練を何度も繰り返した甲斐があり、キビキビとした行動がとれました。帰校した生徒を見ていると、どの学年ともにやりとげた充実感・満足感があふれていました。足の痛さや旅の疲れはすぐに忘れてしまいますが、この日の思い出はずっと忘れないことでしょう。

さて、前日、サッカーワールドカップ南アフリカ大会の日本代表選手が発表されました。日の丸を背負って戦わなければならない選手にとって、その責任の重さは大きなプレッシャーになると思います。いい加減なプレーに対しては、サポーターからブーイングがおこるため、少しの気のゆるみも許されません。

詫間中学校326名の生徒一人一人も「詫間中学校代表選手」です。今回の学習においても、みのふれあいパークや栗島、北九州などでの一人一人の行動が、そのまま「詫間中学校」の評判、評価につながります。大きな声であいさつをする生徒がいると、あいさつをされた人は「あの中学校の生徒はみんなあいさつがよくできる」と思ってくれます。逆に、ルールやマナーが守られていない生徒がいれば、「あの中学校はなつとらん」と思うでしょう。たった一人の行動が、全体のイメージを創り上げてしまうことがあるのです。

これは、普段の生活においても当てはまります。学校内での生徒たちの行動は実にすばらしく、先生方もいい学校になっていることを実感しています。でも、いったん学校を出ると、今度は地域の人々の目もあります。「さわやかなあいさつをする」「交通ルールを守る」ことで、地域の強力なサポーターから温かい声援を受ける学校でありたいと思っています。「詫中代表選手」としての誇りと責任を持ってください。

先日、サポーターからのブーイングがありました。「自転車の乗り方」についてです。今年に入って3件目になります。自転車が道いっぱいに広がって通行するため他の人の迷惑になるという内容でした。自転車は1列で通行するという「ルール」があり、すれ違う際は互いに道を譲り合うという「マナー」があります。これらを守ることは当たり前のことであり、みんなの「命」を守ることにもつながるのです。

Re・TAKUCHU PROJECT 第3弾

今年の1月からスタートしたこのプロジェクト。第1弾は、生徒会が中心となって企画・運営した「人権集会」。そして、第2弾は、詫中マスコットキャラクター「カメ太郎」の誕生でした。

本年度最初は、自学のススメ「タートルノート」への取り組みです。家庭学習の習慣化が図られていないことが、本校の大きな課題であるため、これまで学年や学級で取り組んできた自主勉強ノートを全校一斉に取り組むことにしました。毎日の地道な取り組みは、カメのような着実な一歩であり、小さな一歩を積み重ねることで大きな前進になることを期待して、「タートルノート」と名付けました。

ノートに右のような表紙を貼り、2冊目、3冊目になるにつれて、カメ太郎が2匹、3匹と増えていきます。5冊目を超えると、カラーのカメ太郎の登場です。ノートも学校の方で準備します。

量(ページ数)だけでなく内容も大切になってきますが、まずは学習習慣をつけることが、確かな学力の定着につながると信じて、この取り組みを推進してまいります。ご理解・ご協力をお願いします。

自学のススメ

タートルノート

No.1

～共に、切磋琢磨しあおう～



One for all, all for one

開始日： 年 月 日～
終了日： 年 月 日

()年()組()番
氏名()